

カリキュラム設計担当者養成プログラム
「教育プログラムにおけるルーブリック導入の方法、課題と組織的対応」
(文部科学省教育関係共同利用拠点事業)

関係各位

九州大学 基幹教育院 次世代型大学教育開発センター

このたび、下記のとおり、カリキュラム設計担当者養成プログラム「教育プログラムにおけるルーブリック導入の方法、課題と組織的対応」を開催致しますのでご案内申し上げます。

【趣旨】

学生の学習到達度を計測する手段としてルーブリックの活用が注目されています。これまで本拠点の研修会でもルーブリック作成に関するFDを実施し、個別の授業におけるルーブリックに焦点をあててきました。

一方で、全学的にルーブリックの導入を進める動きもあります。個々の教員が自身の授業に関するルーブリック作成を行うのとは異なり、教育プログラムレベルでのルーブリック導入は、組織マネジメントとカリキュラムマネジメント両方の視点が必要となり、困難さが増大します。教育プログラムレベルでルーブリックを導入する際にどのような課題が生じ、それに対しどのように組織的対応をとっていくのかという点が大変重要になると思われます。

そこで今回の研修では、教育プログラムにおけるルーブリック導入の方法、課題と組織的対応について、関沢和泉教授(東日本国際大学 高等教育研究開発センター)にご登壇いただき、導入事例をご紹介します。さらに、同じように大学でルーブリック導入を進めている榊原暢久教授(芝浦工業大学 教育イノベーション推進センター)にもコメンテーターとしてご登壇いただき、両大学の実践を踏まえた議論を通して理解を深めます。

【日時】 令和4年7月29日(金) 10:00～12:00

【会場】 Zoom ミーティングにて開催

(アクセス先はお申し込みいただいた方に当日までにお知らせします)

【定員】 30名(先着順)

【参加費】 無料

【対象】 教育プログラムにおけるルーブリック導入に関心のある大学・高校等教職員

【講師】 関沢和泉 教授(東日本国際大学 高等教育研究開発センター 副センター長)

【コメンテーター】 榊原暢久 教授(芝浦工業大学 教育イノベーション推進センター)

【参加申込】 九州大学 FD ポータルよりお申し込みください(7月27日(水)17:00〆切)

<https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/206>

【プログラム内容】

1. 開会挨拶
2. ご講演 「教育プログラムにおけるルーブリック導入:東日本国際大学を事例として」
関沢和泉 教授(東日本国際大学 高等教育研究開発センター 副センター長)
3. コメンテーターによるディスカッション
榊原暢久 教授(芝浦工業大学 教育イノベーション推進センター)
4. 全体からの質疑応答・ディスカッション
5. 閉会挨拶

【参加者へのお願い】

- ・ 当日は、有線 LAN、無線 LAN など安定したインターネット環境下で、それらに接続できる PC またはモバイルデバイス(スマホ、タブレット)をご準備の上ご受講下さい。
- ・ 本セミナーの録画・録音・撮影、スクリーンショットやダウンロードおよびセミナー資料等の無断転用や受講用 URL の無断転載はご遠慮ください。なお、主催者が記録用に録画・録音を行う場合がありますので、あらかじめご承知おきください。
- ・ 営業もしくは営利を目的とする行為は禁止します。

【実施主体】

主催：九州大学 基幹教育院 次世代型大学教育開発センター

【問い合わせ先】

九州大学 基幹教育院 次世代型大学教育開発センター

E-mail:kyoten★artsci.kyushu-u.ac.jp(★を@に置き換えて下さい。)

(タイトルに【7/29 ルーブリック】と記載して頂けますと幸いです。)

*平成28年7月に、九州大学基幹教育院は「教育関係共同利用拠点」として文部科学省から認定され、その実施組織として「次世代型大学教育開発センター」を設置いたしました。教育関係共同利用拠点とは、多様化する社会と学生のニーズに応えつつ質の高い教育を提供していくために、各大学の有する人的・物的資源の共同利用等を推進するものです。

次世代型大学教育開発センター ウェブサイト:<http://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~cfde/>

以上